

教科名	数学	科目	数学Ⅰ（内進）	週授業時間	3 単位
-----	----	----	---------	-------	------

1. 教科書および副教材

高等学校 数学Ⅰ（数研出版）

高等学校 数学Ⅱ（数研出版）

4 プロセスⅠ+A（数研出版）

4 プロセスⅡ+B（数研出版）

2. 授業の目標および内容

1 学期は「三角関数」を扱う。数学Ⅰの「三角比」では、角 θ は $0^\circ \leq \theta \leq 180^\circ$ に限られていたが、三角関数では、取り扱う角 θ の範囲を拡張する。角を、動径が回転した「回転量」として表現することにより、一般角を取り扱う。また、一般角 θ に対して、正弦、余弦、正接のいろいろな性質を調べていく。さらに、数学Ⅰの「2次関数」で関数概念の理解を深めているが、さらにこの単元を通して関数の理解を深めていく。

2・3 学期は数学Ⅰ・A を中心とした総合演習を行う。進学クラスは4月の基礎学力到達度テストを見据えた対策授業を行い、特進クラスは大学入学共通テスト、国公立2次、私立一般の試験を想定した発展的な問題を通して応用力を養っていく。

3. 試験について

	1 学期		2 学期		3 学期
定期試験	一次 5 月	二次 7 月	一次 10 月	二次 12 月	期末 3 月
学力試験	なし		なし		2 月実施

内容・難易度について

- ① 定期試験：試験時間は 50 分とし、授業で扱った問題の類題を中心として出題する。
- ② 学力試験：試験時間は 50 分とし、基礎的な内容に加え授業の内容からやや発展させ、応用力を問う問題も出題する。試験範囲は原則として入学当初から学習した事全てとする。

4. 評価の視点

$$1 \cdot 2 \text{学期} : 1 \text{次テスト素点} + 2 \text{次テスト素点} / 2 \pm \alpha$$

※ α は授業態度、提出物等を考慮して決定する。

授業計画

学期	単元	学習内容	備考
1	数Ⅱ 第4章 三角関数 第1節 三角関数 第2節 加法定理	角の拡張 三角関数 三角関数のグラフ 三角関数の性質 三角関数の応用 加法定理 加法定理の応用	
2	総復習 (数学Ⅰ・A 中心)	<ul style="list-style-type: none"> ・数と式 ・2次関数 ・データの分析 ・図形の性質 ・集合と命題 ・図形と計量 ・場合の数と確率 ・三角関数 など 	副教材を使用
3	総復習 (数学Ⅰ・A 中心)	<ul style="list-style-type: none"> ・数と式 ・2次関数 ・データの分析 ・図形の性質 ・集合と命題 ・図形と計量 ・場合の数と確率 ・三角関数 など 	副教材を使用